

応用生態工学会 広島・土木学会 水工学委員会 環境水理部会ジョイントシンポジウム  
～ダム貯水池の水環境に関する現状と将来（第2回）in 松江～ 開催報告

環境水理部会長 矢島 啓（島根大学 エスチュアリー研究センター）

## 1. 開催趣旨

中国地方をはじめとして、多くのダム貯水池では、アオコをはじめとした富栄養化現象や底層部の貧酸素化現象、それらに伴う異臭や着色の発生等、水環境に関する様々な課題を抱えており、今後、官・学・民それぞれの立場や一体となった水環境改善に向けた取り組みが不可欠となっています。

昨年度、応用生態工学および環境水理学の観点から、「ダム貯水池の水環境」に関するシンポジウムを広島において開催し、講演者を中心として、現象や解析技術、対策手法等の現状と今後の展開の方向性について討議を行いました。今年度は、開催場所を島根県（松江市）として、行政、研究者、実務者のそれぞれの立場でのダム貯水池の水環境に関する現状や課題について、講演をいただきました。

また、5人の講師の方の講演内容を踏まえ、ダム湖におけるアオコやカビ臭問題を焦点として、今後の展開、展望について講演者とシンポジウム参加者を含めた総合討議を行いました。

## 2. シンポジウム概要

- (1)開催日時：平成 29 年 11 月 7 日(火) 13:30～17:30
- (2)開催場所：松江テルサ大会議室（島根県松江市朝日町）
- (3)参加者：120 名（学 9，官 35，財団 19，産 57）
- (4)プログラム

趣旨説明 赤松 良久（山口大学大学院 創成科学研究科 准教授）

講演①「島根県三瓶ダムの水質改善の取り組み」

福田 慎（島根県 土木部 河川課 河川開発室 企画幹）

講演②「ダム貯水池のカビ臭の発生状況とその発生メカニズムについて」

黒川 岳司（呉工業高等専門学校 環境都市工学分野 准教授）

講演③「島根県管理ダムにおける水質対策の効果と課題」

増木 新吾（島根大学 エスチュアリー研究センター 特任助教）

講演④「ダム貯水池における生物現象と現象発生に伴う課題」

大谷 修司（島根大学 教育学部 自然環境教育専攻 教授）

講演⑤「ダム貯水池におけるカビ臭対策事例」

木村 文宣（一般財団法人 水源地環境センター 研究第二部 主任研究員）

総合討論会 コーディネーター 矢島 啓（島根大学 エスチュアリー研究センター 教授）

## 3. おわりに

当日は会場が満席となるほどの参加者があり、講演会後の意見交換会も含めて活発な議論が行われました。共催の島根大学エスチュアリー研究センター、また、後援の国土交通省中国地方整備局、島根県、一般社団法人建設コンサルタント協会中国支部には多大な協力をいただきました。この場を借りて御礼申し上げます。

